

<研究ノート>

コミュニケーション能力育成を目指した 言語活動を支える板書計画

江原 一浩*

How A Chalkboard Plan Supports Activities Aimed at Communication Skills

EHARA Kazuhiro*

抄 録

内容中心第二言語教授法に基づいた授業では、板書計画は必要不可欠なものである。内容ある題材を読み、考え、自分の気持ちや意見を目標言語で発表することを目指した授業では、導入活動としてオーラル・イントロダクションが、生産活動として再話活動 (Story Retelling) が行われることがある。2つの言語活動と活動の要となる板書計画の関係に焦点を当て、板書計画の機能を再確認するとともに、その作成過程の詳細と具体例を示す。

キーワード：内容重視の第2言語教授法、コミュニケーション能力、オーラル・イントロダクション、再生活動 (Retelling)、心的表象、発表活動の舞台

Abstract

A chalkboard plan is an essential part of content-based second language teaching. Oral Introduction is used as a presentation activity, whereas Story Retelling is applied as a production activity in content-based language teaching lessons aimed at encouraging learners to read a content-based reading material, come up with their own opinions about it, and communicate their reactions on it. This study focuses on a chalkboard plan on which those two language learning activities are based, and relationships between a chalkboard plan and the two activities. It tries to reconfirm possible functions of a chalkboard plan and also provide a detailed process of its creation, along with some end products.

1. はじめに

「コミュニケーション能力」は、適切な言

語の使用場面や状況を設定した上で、実際に言語を使用させ、言葉の選択、修正、言い直しを繰り返し、同時に、「通じた」、「分かった」

* 筑波学院大学経営情報学部、Tsukuba Gakuin University

という成功体験を覚えながら養われる。ゆえに、現状の言語能力を土台に、学習した言語材料を駆使して、題材内容について思考し、判断し、語らせるように導く必要がある。再話活動 (Story Retelling) は、視覚資料や意味的に重要な語句のワードカードを利用して適切な言語の使用場面や状況を設定し、その舞台上で言語使用を体験させることによりコミュニケーション能力を伸ばすことを目的とした、有効な発表活動の1つである。自分の意見や質疑応答を加えることで、「話すこと (発表)」から「話すこと (やり取り)」に発展させ、実践的な相互方向のコミュニケーション活動へと進めることが可能となる。この意思を伝えようとして対話者同士が行う意味交渉が第2言語の発達を促すこととなる (村野井、2006)。さらに、題材内容に対する賛成・反対の態度とその根拠や理由を述べさせたり、題材について学習者自身で調べて教科書では触れていない周辺情報を発表させたりすることで、コミュニケーション活動に対してより主体的、探求的に取り組んでいけるように導くこともできる。

2. 再話活動 (Story Retelling) とは

再話活動は、教科書の内容を、実際の場面を想起させるような視覚補助を利用して、より自然の流れ・文脈の中で目標言語を用いて学習内容を再生させる活動である。この活動は、第2言語習得において、認知プロセスを活性化するアウトプット活動を教室内で展開することを可能とするものである。言語活動で学習した言語項目を実際に使用することで、インプットの認知処理が理解からインテイク (intake) へ、インテイクから統合化 (integration) へと進め、言語習得の流れが促される (村野井、2006; 和泉、2016)。

事前準備として、板書の完成版を印刷した板書計画をワークシートとして生徒に配布

し、再話活動の練習を家庭学習の課題としておく。活動の舞台として、指導者が口頭による内容の復習活動で黒板に提示した視覚資料 (絵・写真・地図・グラフ等) および重要な語句のワードカードを再活用する。個人やペアで再話活動のリハーサルを積み重ねた後に、数名を指名し、黒板の前に出てきて、黒板にある視覚資料を指しながら教科書の内容を再生させる。使用言語は、基本的には教科書本文の表現を利用することになるが、教科書本文とは異なる指導者が導入活動と口頭復習活動で使用した表現や既習表現を使用することをよしとする。話の展開方法についても、教科書や指導者が導入活動で演示した展開に拘ることなく、生徒の自主判断に任せるものとする。学習者の言語習熟度に合わせて、学んだ本文全体を再話させる場合もあれば、部分的に行わせることもある。

3. オーラル・イントロダクションと板書計画

オーラル・イントロダクションは、学習者の言語能力や学習する題材に対する興味関心を踏まえ、指導者が教科書本文の言語情報を理解可能なインプットに噛み砕き、題材と学習者との関連付けを行いながら、支援的また体系的に情報を提供する指導技術である。また、オーラル・イントロダクションは、指導者による自然のリアルタイムのインプットであり、現実の意思伝達活動を教室に導入する活動でもある。言語技能的には、リスニングとスピーキングに重点を置いた活動である。具体的には、上述した板書計画の機能を最大限に活用し、生徒とインターアクションを取りながら、学習者が持つトピックに関する背景知識を活性化させ、不足する周辺情報を補完し、新出言語材料の導入等を行なう。オーラル・イントロダクションの隠れた機能として、再話活動のモデルを示演することがあ

る。この機能は一般的にはあまり認識されていない様だが、再話活動の成否はこの示演機能に大きく影響される。というのも、再話活動の模範となるものは指導者によるものしかないからである。学習者は、教科書にある表現、指導者の発話、提示されているワードカードの言語的補助を土台として、目撃した指導者による発表形式、話の展開方法、視覚資料間の関連提示を見習いながら、まとまりのある再話活動に取り組むこととなる。このように、オーラル・イントロダクションと再話活動は表裏一体の関係にあり、授業展開の入り口と出口になっている。双方の活動の舞台となり、言語習得を進ませる言語活動の環境を整えるのがまさしく板書計画である。内容中心第二言語教授法に沿った授業では板書計画は必要不可欠なものである。

4. 板書計画とその機能

板書計画とは、指導者による本文の内容理解の心的象徴を具体的に視覚化したものである。心的表象とは、読解の結果、自らの経験や背景知識をもとに推論し、文の描き出す状況を頭の中に描き出した内容の概念図であり、それは画像ともひとコマのマンガのようなものであると例えられている（津田塾大学言語文化研究所読解研究グループ、2002；卯城、2009）。板書計画は単色で平板な教科書の文字情報を、指導者の心的働きを通して、色鮮やかで立体的な情報へ変換したものとも言える。板書計画の機能として、以下の利点が考えられる。

- ①学習者の興味、関心を刺激する。
- ②学習者の題材に関する背景知識（コンテンツスキーマ）を喚起する。
- ③学習者の論理の展開に関する背景知識（フォーマルスキーマ）を喚起する。
- ④学習者の内容理解の補助輪となる。

- ⑤家庭学習との橋渡しとなる。
- ⑥学習内容の総括（まとめ）となる。
- ⑦言語習得に必要な言語の適切な使用場面や状況を創造する。
- ⑧語彙習得の際の重要な要因となる印象的な遭遇、文脈、頻度を提供する。
- ⑨学習者が自らの心的表象を視覚化する際のたたき台となる。
- ⑩指導者が題材内容を十分理解し、提示資料や提示順序を把握しているかどうかという授業準備の指標となる。
- ⑪オーラル・イントロダクションの進行表でありプロンプターとなる。
- ⑫板書計画を A4もしくは B5版に縮小し印刷したものは、再話活動の個人・ペアで行う練習の基盤となる。

5. 板書計画の活用場面

高等学校の外国語科目の一つにコミュニケーション英語があり、この科目の授業展開例を示す。教科書にある各課の一パートに授業二コマを配当するものとし、一コマ50分の授業を想定している。板書計画が特に機能を発揮する活動に下線が引いてある。a Picture Worksheet は、板書計画を A4もしくは B5版に縮小して印刷し、生徒に配布したものを指している。

1 時間目

- (1) Greetings
- (2) Oral Introduction of the New Material
- (3) Model Reading
- (4) Pronunciation Practice of New Vocabulary Items
- (5) Silent Reading with Reading Questions for Comprehension
- (6) Checking Answers to Reading Questions
- (7) Explanation
- (8) Reading Aloud with Comprehension

- ① Chorus Reading after the Teacher (Once or Twice)
- ② Buzz Reading (Once or twice)
- ③ Individual Reading (Once or twice)
- (9) Assignment with *a Picture Worksheet for Story Retelling

2 時間目

- (1) Oral Review of the New Material
- (2) Reading Aloud with Comprehension
 - ① Chorus Reading after the Teacher (Once or Twice)
 - ② Blank Reading (虫食い音読)
 - ③ Sight Translation Reading
 - ④ Synchronized Reading with the Textbook Open
 - ⑤ Shadowing with the Textbook Closed
- (3) Summary Writing
 - ① Filling in Blanks and Completing Sentences with One's Comments on the Text
 - ② Checking Answers
 - ③ Sharing One's Comments on the Text
 - ④ Teacher's Feedback
- (4) Story Retelling
 - ① Individual Preparation for Story Retelling
 - ② Rehearsal in Pairs
 - ③ Story Retelling with Comments in Front of the Classroom
 - ④ Students' Feedback or Question & Answer Session
 - ⑤ Teacher's Feedback

6. 板書計画の作成過程

板書計画の作成過程の各段階とその作業内容は以下の通りとなる。

- (1) 教科書本文全体 (レッスン全体) の読み込みと心的表象の構築
- (2) 各パートの心的象徴の構築

- (3) 板書計画立案
 - ① 展開方法 (時系列、空間配列、列挙、分類、対比・比較、因果関係、上位・下位範疇等) の決定
 - ② 絵コンテ (手書きによる下絵作成) による心的象徴の可視化 (具体化)
 - ③ 関連するイメージ画像の収集と加工と割付け
 - ④ 黒板に提示する言語項目の取捨選択とワード/フレーズ/センテンスカードの割付け
- (4) ト書きを含めたオーラル・イントロダクションの原稿作成と板書計画の調整
- (5) 板書計画を利用してのオーラル・イントロダクションの口頭練習
- (6) 黒板に提示する視覚資料(実物・絵・写真・地図・表・ワードカード等) の収集と作成
- (7) 作成した視覚資料を使用しての教室での模擬授業 (シャドーティーチング) と板書計画の最終調整
- (8) 最終調整に基づいた板書計画の修正
- (9) 板書計画の完成
- (10) 提示順に沿った視覚資料の整理

7. 板書計画の具体例とオーラル・イントロダクション例

典型的な展開方法に基づいた板書計画例を4つと、関連するオーラル・イントロダクション例を1つ示すこととする。ひとつの板書計画には、複数の展開方法が含まれていることが一般的である。板書計画例1では、時系列の展開方法に基づき、卓球の日本代表である平野美宇選手の古い出来事 (誕生) から新しい出来事 (現在の状況) までが、時間軸に沿って紹介されている。この時系列の展開方法を採用した板書計画に連動するオーラル・イントロダクションのセリフとト書きを記す。授業の際に、板書計画にある視覚資料とワードカードが、いつどのような順序で導

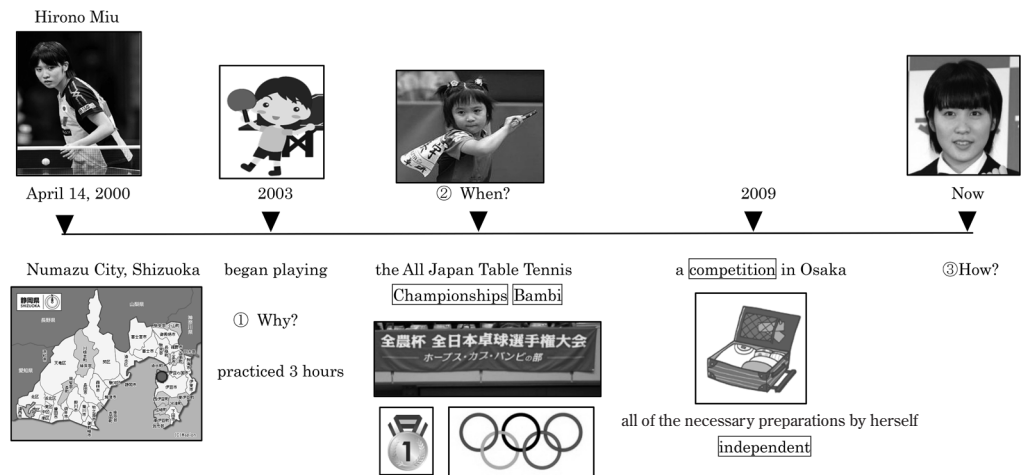
入されるのかの様子が分かるであろう。板書計画例2では、空間的な展開方法に基づき、国際最宇宙ステーションに滞在した日本人宇宙飛行士古川聡さんと仲間の宇宙飛行士が、宇宙船からそれぞれの母国である日本、米国、ロシアを見下ろす様子が暗示され、同時に、地球全体を俯瞰する写真が宇宙ステーション及び見下ろされる個々の地域と対比するように配置されている。板書計画例3では、海藻と陸野菜が対比され、その下に3種類の海藻の分類が、含有するビタミンの種類と体のどの部分に効用があるのかという項目立ての下、一覧表にまとめられている。板書計画例4では、海藻をテーマに、そのいくつかの効能(上位範疇)が列挙され、各効能の具体例(下位範疇)が樹形図を利用して提示されている。

板書計画例1に連動するオーラル・イントロダクション

In Part 2, we will take a close look at this person. (平野美宇選手の写真を貼る) Who is she? Right, Hirano Miu. And we will learn

when and why she began table tennis. Also, about her table tennis history and how she was raised by her parents.

(黒板中央に横線を引き、右端に▼を板書する。その下に静岡県の地図を貼り、沼津市あたりに赤いマグネットを置く) Hirano Miu was born in Numazu City, Shizuoka Prefecture on April 14, 2000. (平野美宇の写真の下に April 14, 2000と板書し、静岡県の地図の上に Numazu City, Shizuoka と板書) When did she begin playing table tennis, do you think? Well, only three years old. She began playing at the age of three. (横線上に▼を板書し、その上に幼い少女がラケットを持っているイラストを貼り、その下に2003と板書し、横線の下に began playing と板書) Now, I have the first reading question. Why did Miu begin playing table tennis? (began playing の下に ① Why? と板書) She had her own important reason, so try to find what it was. Even when she was three years old, she practiced three hours every day. (① Why? の下に practiced 3 hours と板書) Can you believe it? Could you

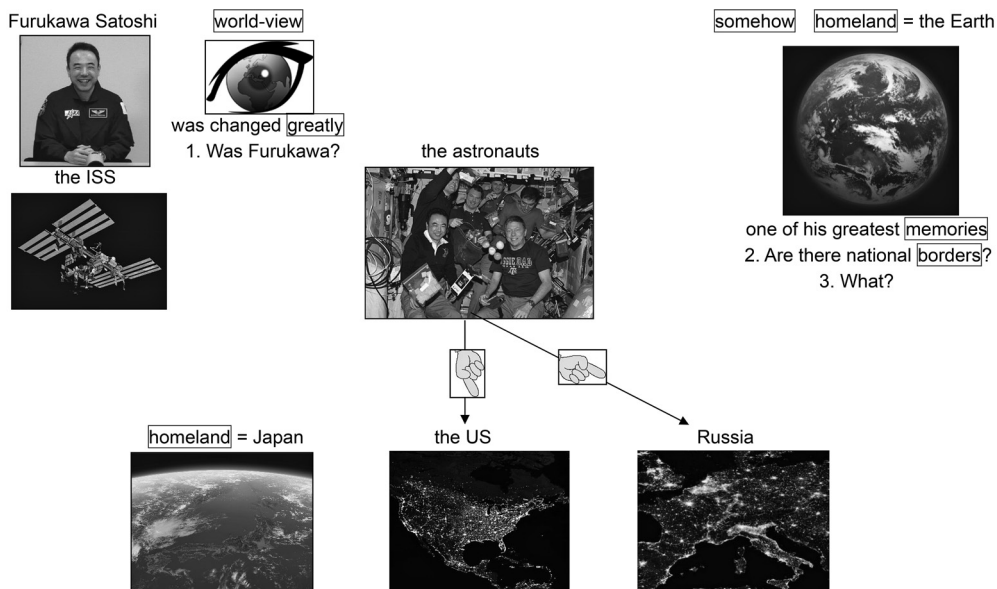


例1 時系列

do the same thing? I'm afraid that I couldn't stand it. A few years later, she took part in the All Japan Table Tennis Championships Bambi. (横線上に▼を板書し、その上に全日本卓球選手権大会バンビの部に出場した平野選手の写真を貼り、横線の下に the All Japan Table Tennis Championships Bambi と板書) (the All Japan Table Tennis Championships Bambi の下に全日本卓球選手権大会ホープ・カップ・バンビの部の垂れ幕の写真を黒板に貼り、それを指しながら) Look at this. It shows a national table tennis tournament of the All Japan Table Tennis Championships Bambi. In Japanese, 全日本卓球選手権大会バンビの部. In the category of Bambi or バンビの部では, children under the age of eight or the second grader, that is, 小学校二年生以下, can play. "Championship" means 大会 in Japanese, and the word "Bambi" originally comes from Walt Disney's movie "Bambi." It is part of the name of one category of the All Japan Table Tennis

Championships. Now, I have the second reading question. When did Miu win the All Japan Table Tennis Championships Bambi? (バンビの部に出場した平野選手の写真の下に② When? と板書) After she won the tournament, she said in an interview that her dream was to win a gold medal in the Olympic Games. (垂れ幕の写真の下に金メダルのイラストを貼り、その右隣にオリンピックを象徴する五輪のイラストを貼る)

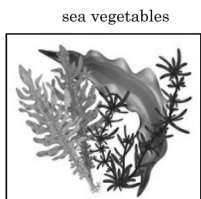
(横線上に▼を板書し、その上に2009と板書) When Miu was nine years old, she went to Osaka to take part in a competition. (▼の下に a competition in Osaka と板書) "Competition" is an event in which people play with each other to find out who is the best at something. In Japanese, 大会. Everyone, read after me. (competition の発音練習) (a competition in Osaka の下に荷物を含めた旅行鞆のイラストを貼る) She made all of the necessary preparations by



例2 空間配列

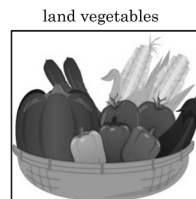
herself and went to Osaka alone. (イラストの下に all of the necessary preparations by herself と板書) "Preparation" means the act or process of getting ready for something or

making something ready or 準備 in Japanese. Everyone, repeat after me. (preparation の発音練習) Miu was able to take good care of herself. Why? Because she was raised





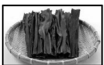



sea vegetables

- high in vitamins and minerals
- ① Why?
- 10 to 20 times as many vitamins and minerals as
- a great source of minerals full of calcium
- ③ What?

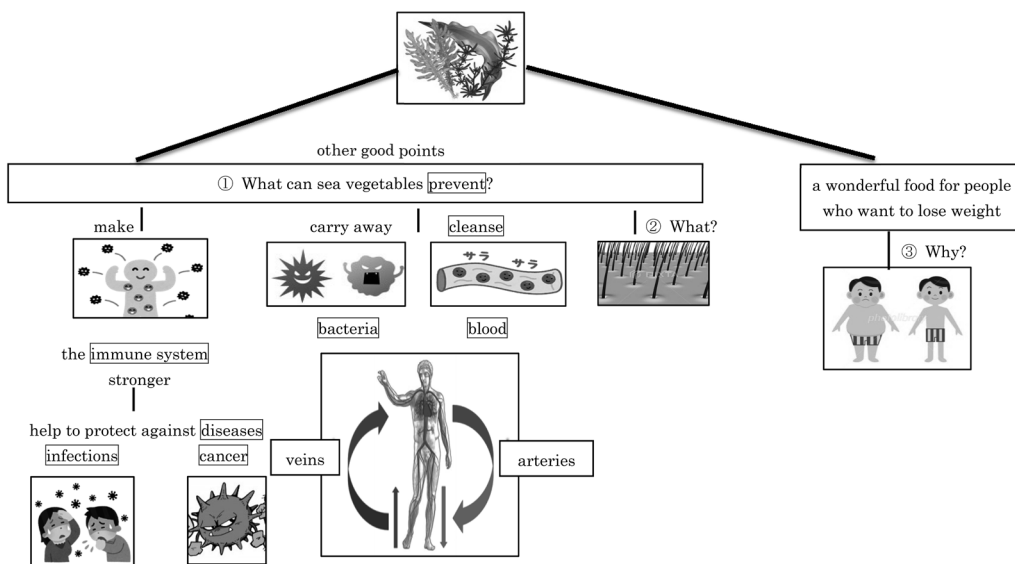


land vegetables

sea vegetables	vitamins	good for what
 Contains	A far more A than even carrots 	<u>eyesight</u>
	D more D than milk and cheese	teeth and <u>bones</u> 
	② What?	<u>heal</u> <u>wounds</u> 

Power On English Communication II Lesson 5 Part 2 (東京書籍)

例3 対比と分類



Power On English Communication II Lesson 5 Part 3 (東京書籍)

例4 列举と上位・下位範疇

to be independent. (all of the necessary preparations by herself の下に independent と板書) “Independent” means to be confident and free to do things without needing help from other people, in this case from parents. In Japanese, 自立した. Students, repeat after me. (independent の発音練習) (横線上の左端に▼を板書し、その上に平野美宇選手の顔写真を貼り、すぐ下に Now と板書) Now, she tries to do everything in some way. This leads to the last reading question. How does Miu try to do everything? (横線の下に③ How? と板書) Everyone, let’s read Part 2 and answer the reading questions.

8. まとめ

内容ある題材を読み、考え、自分の気持ちや意見を目標言語で発表することを重視したコミュニケーション英語の授業は、板書計画に始まり板書計画に終わるといっても過言で

はない。板書計画は、指導者の教科書の本文理解の具現化であり、言い換えれば、指導者の内容理解の鏡である。それは学習者に手渡したい、また、記憶に残して欲しい学習の総まとめというバトンともなる。適切なバトンを作成し、上手くバトンを操り、スムーズにバトンを学習者に引き継ぐ、これが指導者の重要な役割のひとつではないだろうか。

【参考文献】

- 浅見道明 他8名 (2017) 「Power On English Communication II」東京書籍
- 和泉伸一 (2016) 『第2言語習得と母語習得から「言語の学び」を考える』アルク
- 卯城祐司 (2009) 「英語リーディングの科学」研究社
- 津田塾大学言語文化研究所読解研究グループ (2002) 「英文読解のプロセスと指導」大修館書店
- 村野井仁 (2006) 「第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法」大修館書店